

# 平成29年度 学校自己評価システムシート（栄北高等学校）

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」のもと、安全・安心・充実した生活で生徒の夢を実現する
--------	--

重点目標	1 生徒指導の徹底 2 基礎学力の向上とアクティブラーニング、キャリア教育の推進 3 進学実績の向上
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	15名
	教職員	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 3 月 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本校は素直で真面目な生徒が多く、非行など問題行動で指導（懲戒）を必要とする状況が非常に少ない。</li> <li>●入学時より正しい生活習慣を身につけることによって高校生としての自覚や更なる充実した学校生活と効果的な学習が望まれる。</li> <li>●本校では基本的な生活習慣やマナーについて徹底指導しており、高校生活はもとより、卒業後にも通用する人格形成に心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒指導の徹底。</li> <li>●積極的な面談の実施。</li> <li>●いじめの早期発見、早期解決。</li> <li>●担任による日常指導の徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●面談により、生徒を理解し学習面及び生活面の安定と向上を目指す。</li> <li>●生徒の生活習慣を把握し、一人ひとりに合った指導を行う。</li> <li>●個別膝下指導により、悩みごとの早期発見と解決を行う。</li> <li>●学年と生徒指導部との連携、情報の共有により、問題行動の事前防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒指導の徹底により、問題行動を事前に防止し、健全な高校生活を送らせる。</li> <li>●積極的な面談の実施により、生徒個々の状況を把握する。</li> <li>●アンケート等により、いじめの早期発見、早期解決を目指す。</li> <li>●担任が生徒一人ひとりの状況を把握し、徹底した指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭との情報を共有し、共通理解のもと適切な指導を実施した。</li> <li>●各学年において計画的な面談の実施により生徒の適切な指導ができた。</li> <li>●アンケート実施や個別面談によりいじめ防止を図った。</li> <li>●生徒指導と学習指導を中心にあらゆる機会を通じて人格の陶冶を目指した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的生活習慣の確立。健康管理・挨拶・マナーの大切さを指導し生活全般の向上を図っていく。</li> <li>●引き続き積極的に面談を実施することで、生徒の心の動きを把握し、問題の早期発見に努める。</li> <li>●生徒指導と学習指導を中心にあらゆる機会を通して人格の陶冶を目指し、担任指導の徹底を図る。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特色あるカリキュラムのもとに、国公立大学や難関私立大学を目指す生徒から、部活と勉強を両立させて高校生活を有意義に過ごしたい生徒まで、一人ひとりに合わせた学習指導で学力を向上させる。</li> <li>●「アクティブラーニング型授業」「キャリア教育」「基礎学力の向上」を3つの柱として、生徒の主体性や思考力、表現力を養わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎学力の向上。</li> <li>●教員の指導力の向上。</li> <li>●家庭学習の充実。</li> <li>●アクティブラーニングの推進。</li> <li>●キャリア教育の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教員研修を実施し、教育力、指導力を高める。</li> <li>●日常の指導とコミュニケーションによる、家庭学習の習慣化。</li> <li>●アクティブラーニング及びキャリア教育研修会への教員参加。</li> <li>●アクティブラーニング及びキャリア教育の意義や目的を生徒に理解させての実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徹底した学習指導により、基礎学力が向上したか。</li> <li>●教員研修等により教員の指導力が向上したか。</li> <li>●家庭学習を含む学習習慣が確立されたか。</li> <li>●アクティブラーニングが推進されたか。</li> <li>●キャリア教育が推進されたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教員の指導力の向上。夏期研修や研究授業、授業公開を行うなど各教科各教科共に努力した。</li> <li>●家庭学習の充実。各教員の指導によりかなり定着してきている。</li> <li>●アクティブラーニング、キャリア教育の教育推進。相互授業見学と、地域に根ざした研究推進をすることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導事項の一貫化。3年間を見通した指導プログラムに基づき、さらに学力向上を目指していく。</li> <li>●積極的且つ、主体的に授業・演習に取り組ませる。</li> <li>●アクティブラーニングをさらに推し進めていく。</li> <li>●主体性をもって社会問題に関わる人材の育成に努めていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの生徒が4年制大学進学を希望しているが、その半数以上が推薦入試またはAO入試での受験を希望している。単に学力試験がないという理由で推薦・AOを考える者も多いので、安易な選択をさせず、しっかりと学力をつけて一般入試に気持ちを向けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国公立大学の合格者増。</li> <li>●早慶上理、GMARCHの合格者増。</li> <li>●日東駒専の合格者増。</li> <li>●進学行事を精選し、内容をより充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●0時間目演習（早朝学習）</li> <li>●代ゼミ現役講師演習。</li> <li>●7・8時間目演習（放課後演習）。</li> <li>●本校を会場とした国公立大学をはじめとする大学進学相談会。</li> <li>●外部講師による進学講演会や小論文講演会等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徹底した進学指導により、目標大学への合格が実現できたか。</li> <li>●進学行事の充実により進学実績が向上したか。</li> <li>●国公立大学、難関大学への合格が実現できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国公立大学合格者。昨年14→今年20と大幅増。旧帝大にも2年連続で合格者を出した。</li> <li>●早慶上理 9→11。GMARCH49→47と横ばい。</li> <li>●日東駒専。昨年138→108と30減ったが、少ない在籍で健闘した。</li> <li>●進学行事に無駄がなくなった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データ分析・資料収集の充実。模試分析や入試動向の分析を重ねていく。校内蓄積データを積極的に活用。</li> <li>●アクティブラーニングやキャリア教育により、多様な受験スタイルにも対応させていく。</li> </ul>

学校関係者評価	実施日 平成30年5月10日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人面談などで生徒の学業から普段の生活までを一緒に寄り添って考えいただき、生徒も親も安心できる環境であると思います。</li> <li>●担任の先生からは日常的に積極的なコミュニケーションをとっていただき、また、指導を受けており、安心していきます。先生と生徒の信頼関係もあり、引き続き指導をお願いします。</li> <li>●生徒を親身に見守ってくれていると思います。</li> <li>●校則も適度に厳しく充実した学校生活を送っています。</li> <li>●毎日、帰宅してから学習するという習慣は身に付いたように思います。</li> <li>●部活と勉強だけでなく進路に必要な指導をしていただいた。</li> <li>●主体性を持たせる指導を行っていただきたいと思います。</li> <li>●アクティブラーニングの成果にも期待しています。</li> <li>●アクティブラーニング、キャリア教育等の活動内容が家庭まで情報が届いていませんでした。こちらも積極的に情報をとり、把握する必要があります。</li> <li>●早朝学習や代ゼミ放課後演習などのカリキュラムで、うまく学習意欲をかり立ててもらっています。</li> <li>●授業以外でも細かいサポートをお願いしたいと思います。</li> <li>●成績の良い生徒は勉強の取り組み方を知っているが、成績が伸びない生徒は諦め癖がついているので、強制的に学習できるようにしていただきたい。</li> <li>●実績報告が保護者にも、もう少し伝わるとよいと思います。</li> </ul>